



埼玉県議会議員

千葉たつや

令和2年(2020年)春号

県政報告

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団
埼玉県議会議員
千葉達也県政調査事務所
加須市中央1-15-7

県議会2月定例会 過去最大となる新年度予算決まる

令和2年度一般会計予算 約1兆9,614億円

安心・成長・埼玉の新時代を創る!

県議会2月定例会は3月27日、過去最大となる令和2年度当初予算1兆9,603億1,500万円（一般会計／補正後累計：1兆9,614億3,464万3千円）をはじめ、新型コロナ緊急対策費として総額約35億円となる補正予算等を議決し閉会しました。

新年度予算は、昨年の台風19号による甚大な被害やCSF（豚コレラ）の発生などを受け、危機管理体制及び防災・減災対策の強化が図られた内容となっています。また、埼玉経済の成長を支える施策が充実しています。

自民党県議団でコロナ対策の緊急要望

緊急対策費として 総額約35億円を計上!!

新型コロナウイルスの拡大を受け、自民党県議団は2月13日に緊急要望書を大野知事に提出。県は元年度予備費から約8千万円を充

当して、24時間の専用電話相談窓口「県民サポートセンター」の開設などを進めました。

2月定例会では、第2弾として補正予算約4億5千万円を議決。さらに国の新型コロナ特措法の改正案成立を受け、第3弾として補正予算約30億円を議決しました。検査システムの強化や受診体制の整備をはじめ、医療機関等のマスク・消毒液の緊急調達、中小企業への新たな融資支援などが盛り込まれています。

自民党県議団が提案・可決 全国初!! ケアラー支援条例

県議会2月定例会において私たち自民党県議団は、家族などを介護・看護するケアラーを支援するための「ケアラー支援条例」と「受動喫煙防止条例」を提案し、賛成多数で可決されました。

埼玉県は急速に高齢化が進んでいます。条例ではケアラーが孤立しないように十分配慮するとともに、県は市町村、関係機関、事業者及び民間支援団体と相互連携を図り支援に取り組まなければならないと定めています。また、18歳未満のヤングケアラーに対する教育機会の確保などを求めています。施行は3月31日からになります。

受動喫煙防止条例案は、今年4月改正の改正健康増進法を補完するもので、客席面積100㎡以下の飲食店も原則禁煙とし、ただし従業員がいない場合や全従業員の承諾がある場合は喫煙できると定めています。

施行は県民への告知期間を十分に設けるため来年4月1日としています。



令和元年12月27日、自由民主党県議団同期で構成する「令和会」のメンバー8名と、加須市（埼玉県水産研究所・埼玉県環境科学国際センター・カスリーン公園・加須スケートパーク）を視察し、大橋良一加須市長を表敬訪問しました。

令和2年度当初予算 主な新規事業を報告します

災害に強い埼玉を創るために

■激甚化する降雨への対応(県土整備部)

- 新 県土強靱化緊急治水対策プロジェクト……………8,509百万円
* 台風第19号での被災を教訓に河川の決壊対策、* 漏水・浸透対策、* 溢水・越水防止対策、* 浚渫の強化など
- 拡 激甚化する降雨に対応する総合的な治水対策……………10,302百万円

■被災者支援制度の拡充(危機管理防災部)……………181百万円

- 拡 埼玉県・市町村被災者安心支援制度を拡充し災害救助法が適用されない市町村の半壊世帯を支援

■危機や災害に強い体制づくり
(危機管理防災部・警察本部)……………201百万円

- 新 危機や災害に対処する具体的なシナリオの作成及び図上訓練の実施による関係機関との連携強化(埼玉版FEMA)、新 危機管理防災センターの大型映像装置改修、災害発生時等に警察活動で活用する装備資機材の整備など

■CSF(豚コレラ) 対策の実施(農林部)……………87百万円

- 拡 CSFワクチンの接種及び抗体検査、新 野生いのししの検査、新 ブランド豚の受精卵を凍結し遺伝子を保存など



様々な知識と情報を蓄積するために！ 主な視察報告

埼玉県議会議員 千葉 達也

●台風第19号被災箇所を視察(11月9日)

自由民主党県議団では、県内に甚大な被害を生じさせた台風第19号における被災状況を調査すべく、被災現場の視察を行いました。この視察には、知事をはじめ県執行部も参加し、国土交通省及び県土整備事務所、各自治体、被災住民の方から詳細な説明を受けました。自然災害の脅威を実感し、治水対策の必要性を痛感しました。



越辺川決壊箇所



坂戸市新ヶ谷地区(越辺川・高麗川・葛川の合流点)



東松山市都幾川(くらかけ清流の郷)

●決算特別委員会視察(県内)(10月29日)

●埼玉県立小児医療センター

県立病院における不採算医療、高度医療の充実と能率的な経営の両立が課題になっています。新生児に対する高度医療をはじめ、一般医療機関では対応困難な小児の疾患の診察を行う三次医療を担う当施設を視察しました。



決算特別委員会状況

埼玉県立小児医療センター

●SFAフットボールセンター

県有未利用施設の活用が課題となっております。旧騎西高校を震災復興レガシーとして地域振興に生かし、スポーツの拠点として、(公財)埼玉県サッカー協会が運営するフットボールセンターを視察しました。



SFAフットボールセンター

●公社特別委員会視察(神奈川県)(1月14日～15日)

●(株)さがみはら産業創造センター

新産業の育成、地域の活性化による地域経済の発展及び雇用の創生を図るため、創業やベンチャー企業の成長を目指す、出資法人による地域産業振興の取組について視察しました。



(株)さがみはら産業創造センター

●相模鉄道(株)羽沢横浜国大駅

地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)の岩槻、蓮田までの延伸について、沿線開発や交流人口の増加に向けた取組、収支採算性を検討し、「相鉄・JR直通」と「相鉄・東急直通線」の相互直通運転の手法を視察しました。



相模鉄道(株)羽沢横浜国大駅

●令和会姫路・大阪視察(11月21～22日)

自由民主党県議団同期で構成される令和会で、姫路・大阪の元気な商店街を視察しました。それぞれの特色を生かした活性化の方法について、成功するまでの経緯をお伺いすることで、埼玉県で実施しているNEXT商店街プロジェクトやプッシュ型の中小企業支援について検証するとともに、やる気・本気・元気について、プロジェクトの核となる方々と語り合いました。



姫路 小溝筋商店街(トリックアートを活用する)



大阪 千日前道具屋筋商店街(絆具・道具に付加価値をつける)



大阪 鶴見橋商店街7番街(店主似顔絵カルタ)



大阪 粉浜本通商店街(民泊によるインバウンド)

●産業労働企業常任委員会視察(県内)(11月19日)

●(株)ビコー(毛呂山町)

人手不足や人件費の増加が進む中、AI・IoTやロボット技術の活用が課題解決のツールとして期待されているため、清掃ロボットシステム等のロボットシステムの導入を積極的に進める取り組みを視察しました。



●メッツァ(飯能市)ムーミンバレーパーク

県内の魅力ある観光資源をより活用し、地域全体で盛り上げるため、地域における関係団体間での連携が課題となっています。宮沢湖周辺整備について昨年開業した「ムーミンバレーパーク」を含めて視察しました。



(株)ビコー(毛呂山町)



メッツァ(飯能市)ムーミンバレーパーク

